

様式第3号

猿沢小学校学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回猿沢小学校学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年11月26日（水）午後3時45分から 4時45分まで
- 3 開催場所 猿沢小学校会議室
- 4 出席者
委員 菅原一委員（会長）、千田泰委員（副会長）、新渡戸隆道委員（副会長）、
及川史子委員、菅原吉寿委員、小野寺茂委員、
大竹博行校長、吉田佳世副校長

5 議題

- (1) 学校経営について
 - ① 学校経営反省及び学校評価について
 - ② これまでの教育活動や児童の様子について
 - ③ その他
- (2) 今年度の学校運営支援協議会の日程について
- (3) その他

6 公開、非公開の別 公開、

7 傍聴人 0人

8 議事内容

- (1) 学校経営について
 - ① 学校経営反省及び学校評価について
 - ② これまでの教育活動や児童の様子について

校長が学校評価結果などをもとに学習や生活面における児童の様子（いじめ認知含む）や情報モラルにおける家庭との連携等について説明をした。

学校経営全般や児童の様子等に対しての委員の感想・意見は次の通り。

委員 いじめが発生した時やいじめ未然防止のためのマニュアルはあるか。子どもの社会を見極めることが必要だ。

校長 いじめアンケートを実施し、それに伴った児童の面談を行っている。担任は居心地の良い学級作りや子ども同士の絆づくりに努めている。

委員 4・5年生の複式学級の掲示物の中に最高学年へ進級することに向けた心構えがあり、よかった。

校長 担任は、子ども同士で学び合うことを意図的に仕組み、子どもを鍛えている。複式学級ならではの利点を生かしている。

委員 「学校が楽しい」と子どもたちが言っているのは、先生方のご尽力のおかげである。指導に対する教員評価と児童への教員評価があり、先生方は厳しく見ている。

委員 一人ひとりがしっかりと実力をつけているので感心している。業間の休み時間は異学年で遊んでいるのか。昔は近所で遊んでいたが、今は学校で遊び、互いを知り合っている。将来役に立つ活動である。

校長 人間関係も良い形ではぐくんでいる。

委員 楽しそうに学んでいるのがよい。掃除ファイルをみると、家庭ではやらない（であろう）そうじをしっかりと学校でやっている。社会が明るくなる。

委員 一年生は、しっとりと落ち着いて図工をしていた。大人っぽく感じた。担任との信頼関係が出来ているのだと思う。

③ その他

ア クマ出没対応について

副校長が、猛獣出没の状況別対応について危機管理マニュアルをもとに口頭説明をした。委員の質問・意見は次の通り。

委員 子ども達の安全を第一に守ってほしい。

副校長 駐在所にお願いをして、地域の見守りをさせていただいている。先日の出没の際にもやっていただいた。

校長 自然災害として暴風雨、クマ出没など見守りをしていかなければならないが、その際、地域の方も職員もリスクがあるので、どうしたものか。要配慮者利用施設における避難確保計画にもとづき、市民センターや猿沢保育園とも連携をしている。しかし、基本は保護者に一斉メールで引渡しをする。また、クマ出没で来年度のロードレースのコースをどうしたらよいか思案中である。

委員 不審者の定義はあるか。

校長 正当な理由がない人が敷地に入ってきたら不審者として、校地内に入れない。おかしいと思ったら声をかけ、判断する。安易に距離をつめてはいけない。

イ 教職員の健康の確保について

校長が、働き方アクションプランをもとに、今年度の取り組みの成果について述べた。

委員 先生の仕事は自分で納得するまでなので、遅くまで学校にいらっしゃり、
気の毒に思うことも…。

校長 各々の働き方のスタイルがあるので、ワークライフバランスを考えてい
ただきたいと考えている。

委員 意識改革のためには必要な取り組みである。

委員 理想は、残業時間を減らすということだが、お持ち帰りもあるのではな
いか。

委員 複式学級の担任の先生は、教材研究も大変だと思う。

校長 時間の確保をする。

委員 「これだけは絶対に教える」と指導事項を削ぎ落して、（指導）目標を
見極める力がつく。（児童も先生も）短時間でやりたいことをやりきる
ことができるようになるのが複式指導である。

ウ 学校周辺環境整備について

副校長が、保護者や地域の方のボランティアのおかげで環境改善が図られて
いることや来年度の事業として関係機関と調整をしている旨を口頭説明し、記
念樹等の情報提供をお願いした。

委員 記念樹はない。危険を確認したら、伐採してよい。

委員 大風や大雨で倒れることを未然に防ぐこと。

委員 記念樹なし。

エ 本日の講演会、授業の感想等

委員 ラインはしているか。

校長 ラインは、個人情報が必要となるためしていない。学校からの一斉配信
を行っている。

(2) 今年度の学校運営支援協議会の日程について

副校長が資料に基づき説明した。給食試食会も行うことを伝えた。

(3) その他

副校長が、旅費の請求に係る委任状作成をお願いした。

9 担 当

一関市立猿沢小学校 副校長 吉田 佳世

T E L 76-2022